

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 福田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜間・通信	1305 時間	135 時間	
	作業療法学科	夜間・通信	1320 時間	135 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://ocr.ac.jp/admission/system#system4

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 福田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://ocr.ac.jp/admission/system#system4

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人理事長 (2002.4.1～)	2001.6.5 ～ 2025.6.4	教学・運営体制に関する指導
非常勤	医療法人理事長・病院長 (1996.1.1～)	1997.6.5 ～ 2025.6.4	産業医による教職員の管理・指導
非常勤	株式会社取締役 (2003.1.1～)	2012.4.1 ～ 2025.6.4	財務に関する確認・指導
非常勤	株式会社代表取締役 (1999.5.1～)	2021.6.5 ～ 2025.6.4	財務に関する確認・指導
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 福田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>◆理学療法学科・作業療法学科</p> <p>● 授業計画書(シラバス)の作成過程について</p> <p>10月頃より教務を担当している教職員から構成される教務WGにて、次年度の授業科目について確認・検討を行い、その後、各学科の会議にて科目担当者の確定を行う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>11月から12月にかけて科目担当者にシラバス作成を依頼する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>翌年1月を期限に提出がなされ、2月に教務WGにて最終確認を行い、シラバスが確定される。</p> <p>● 授業計画書(シラバス)公表時期について</p> <p>毎年、在校生には3月末に実施される進級オリエンテーションで冊子になったものを配布する。新入生に関しては、入学式後、同様に配布を行う。また、ホームページでも4月中をめどに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページで公表</p> <p>https://ocr.ac.jp/guideline/#syllabus</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシーや学則第8章に定められた履修方法に基づき、年度末に実施される進級判定会議にて単位認定を行う。また成績評価の詳細については、試験規定により定められており、次の通りとする。

成績は、試験・提出課題・出席状況などを総合し各授業科目の担当者が評価する。成績の評点は、各科目100点を満点とし、S・A・B・Cを合格とし、Dは不合格とする。

S : 100点～90点

A : 89点～80点

B : 79点～70点

C : 69点～60点

D : 60点未満

※上記の細目は学生便覧にて公表している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、昨年度より GPA (Grade Point Average、グレード・ポイント・アベレージ) を導入し、年度末に実施する単位認定会議にも GPA 数値が記載された資料を提出し、各学年の成績の分布状況を教職員が把握するようにしている。

学生に対しては、年度末の進級オリエンテーション時に GPA が記載された成績通知書を配布している。各学科、学年の GPA 数値、通算・年間順位と成績の分布状況を記載した一覧表を学内の講義支援システム (Moodle) で公表し、各自の成績がどの水準にあるかについて確認できるようにしている。

● GPA 算出方法

各科目の 5 段階評価を、以下のように換算し、各単位数を掛けて足した合計点を総単位数 (履修登録単位の総数) で割ってスコア化する。

S : 100 点～90 点	4
A : 89 点～80 点	3
B : 79 点～70 点	2
C : 69 点～60 点	1
D : 60 点未満	0

具体的な例 (下記の 6 科目で下記のような評価を得た場合)

人間関係学	2 単位	S (4)
生理学	2 単位	A (3)
情報処理	1 単位	S (4)
自然科学概論	1 単位	C (1)
生理学実習	1 単位	D (0)
心理学	2 単位	B (2)

$$\frac{2 \times 4 + 2 \times 3 + 1 \times 4 + 1 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 2}{2 + 2 + 1 + 1 + 1 + 2} = 2.55$$

● 成績評価基準について

1. 履修した授業科目の成績評価は、試験・提出課題・出席状況等を総合し各授業科目の担当者が評価する。
2. 成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりとする。

成績評価基準と GPA

	評価点	成績証明書表記	GP (Grade Point)		成績評価内容
合格	100 - 90 点	S	S	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89 - 80 点	A	A	3	到達目標を十分に達成している
	79 - 70 点	B	B	2	到達目標を達成している
	69 - 60 点	C	C	1	到達目標を最低限達成している
不合格	60 点未満	表示せず	D	0	到達目標を達成していない
認定	-	認定	-	-	単位認定した評価 ※GPA の対象としない

客観的な指標の算出方法の公表方法

ホームページで公表する
<https://ocr.ac.jp/guideline/#syllabus>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>● 卒業の認定方針の策定及び公表について 以下の通り、ディプロマポリシーを定め、本校ホームページ及び学校案内、学生便覧などにて公表を行なっている。</p> <p>【ディプロマポリシー】 本校では、修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけ、卒業試験に合格した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セラピストとしての倫理観 ● 分かりやすく表現できる記述力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力 ● 学科が目標としたセラピストとしての能力 <p>【卒業に必要な単位数（時間）】 理学療法学科は、125 単位（3150 時間） 作業療法学科は、127 単位（3285 時間）</p> <p>● 適切な実施に係る取組の概要について</p> <p>卒業判定会議において、全科目の履修及び卒業試験の合格について判定を行い、これらの条件を満たしている者について学校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>【卒業認定結果】</p> <p>2020 年度 理学療法学科 26 名 作業療法学科 25 名</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページで公表する https://ocr.ac.jp/guideline/#syllabus</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 福田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r2_business_report_06.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r2_business_report_04.pdf
財産目録	https://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r2_business_report_03.pdf
事業報告書	https://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r2_business_report_01.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.fukuda.ac.jp/data/disclosure/r2_business_report_02.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3150 単位時間/単位	1650 単位 時間/単位	420 単位 時間/単位	1080 単位 時間/単位	単位 時間/単位	単位 時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	91人	0人	8人	50人	58人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

● 授業計画書（シラバス）の作成過程について

10月頃より教務を担当している教職員から構成される教務WGにて、次年度の授業科目について確認・検討を行い、その後、各学科の会議にて科目担当者の確定を行う。

↓

11月から12月にかけて科目担当者にシラバス作成を依頼する。

↓

翌年1月を期限に提出がなされ、2月に教務WGにて最終確認を行い、シラバスが確定される。

● 授業計画書（シラバス）公表時期について

毎年、在校生には3月末に実施される進級オリエンテーションで冊子になったものを配布する。新入生に関しては、入学式後、同様に配布を行う。また、ホームページでも4月中をめどに公開している。

成績評価の基準・方法

(概要)

単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシーや学則に定められた履修方法に基づき、年度末に実施される進級判定会議にて単位認定を行う。また成績評価の詳細については、試験規定により定められており、次の通りとする。

成績は、試験・提出課題・出席状況などを総合し各授業科目の担当者が評価する。成績の評点は、各科目 100 点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。

S : 100 点～90 点
A : 89 点～80 点
B : 79 点～70 点
C : 69 点～60 点
D : 60 点未満

上記の細目は学生便覧にて公表している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

● 進級について

各学年の教育課程に定められた必修科目の全単位が認定されなければならない。

● 卒業について

教育課程に定められた全科目の単位が認定され、卒業試験に合格しなければならない。

学修支援等

(概要)

技術の未習得者への実技指導や補習授業の設定、ならびに成績不良者については個別指導を行なっている。

また、クラス担任制を取っており、定期的に学生本人のみならず保護者とも連絡を取り、個々の学生の状況を把握しサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	22人 (84.6%)	4人 (15.4%)
（主な就職、業界等） 医療機関、介護老人保健施設ほか			
（就職指導内容） 学内に、教員や事務職員で構成するキャリアサポートWGを昨年より設置し、求人先からの情報や就職に関する最新情報を共有している。また、学生には、希望や適性を考慮して、多くの病院・施設の中から担任および学科長が一人ひとりに合った就職をアドバイスするなど、個別指導によるきめ細かいサポートで、学生が自分の希望や適性に合った就職を実現できるよう指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	11人	12.9%
（中途退学の主な理由） 学業不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 各クラスに担任を2名配置し、きめ細やかな指導を心がけている。面談では担任だけではなく学科の責任者も同席するなど必要に応じた面談の形式を取っている。 また、保護者会や個別での保護者面談も実施し、学生の状況について学校と保護者がお互いに把握し、サポートできるようにしている。 中退理由としては、学习上や生活上、経済的問題などあらゆる領域に渡っているため、教員だけでなく学生相談室に属している本校のカウンセラーとも連携し対応する等、退学に至る予兆をいち早く発見し、防止策を講じるようにしている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3285 単位時間/単位	1215 単位 時間/単位	585 単位 時間/単位	1485 単位 時間/単位	単位 時間/単位	単位 時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		100人	0人	7人	36人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業計画書（シラバス）の作成過程について <p>10月頃より教務を担当している教職員から構成される教務WGにて、次年度の授業科目について確認・検討を行い、その後、各学科の会議にて科目担当者の確定を行う。</p> <p>↓</p> <p>11月から12月にかけて科目担当者にシラバス作成を依頼する、</p> <p>↓</p> <p>翌年1月を期限に提出がなされ、2月に教務WGにて最終確認を行い、シラバスが確定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業計画書（シラバス）公表時期について <p>毎年、在校生には3月末に実施される進級オリエンテーションで冊子になったものを配布する。また新入生に関しては、入学式後、同様に配布を行う。</p> <p>ホームページでも4月中をめどに公開している。</p>

<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>単位授与・履修認定については、カリキュラムポリシーや学則に定められた履修方法に基づき、年度末に実施される進級判定会議にて単位認定を行う。また成績評価の詳細については、試験規定により定められており、次の通りとする。</p> <p>成績は、試験・提出課題・出席状況などを総合し各授業科目の担当者が評価する。成績の評点は、各科目 100 点を満点とし、S・A・B・Cを合格とする。</p> <p>S：100点～90点 A：89点～80点 B：79点～70点 C：69点～60点 D：60点未満</p> <p>上記の細目は学生便覧にて公表している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 進級について 各学年の教育課程に定められた必修科目の全単位が認定されなければならない。 ● 卒業について 教育課程に定められた全科目の単位が認定され、卒業試験に合格しなければならない。
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>技術の未習得者への実技指導や補習授業の設定、ならびに成績不良者については個別指導を行なっている。</p> <p>また、クラス担任制を取っており、定期的に学生本人のみならず保護者とも連絡を取り、個々の学生の状況を把握しサポートを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	21人 (84%)	4人 (16%)
（主な就職、業界等） 医療機関、介護老人保健施設、一般企業ほか			
（就職指導内容） 学内に、教員や事務職員で構成するキャリアサポートWGを昨年より設置し、求人先からの情報や就職に関する最新情報を共有している。また、学生には、希望や適性を考慮して、多くの病院・施設の中から担任および学科主任が一人ひとりに合った就職をアドバイスするなど、個別指導によるきめ細かいサポートで、学生が自分の希望や適性に合った就職を実現できるよう指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95人	6人	6.3%
（中途退学の主な理由） 学業不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 各クラスに担任を2名配置し、きめ細やかな指導を心がけている。面談では担任だけではなく学科の責任者も同席するなど必要に応じた面談の形式を取っている。 また、保護者会や個別での保護者面談も実施し、学生の状況について学校と保護者がお互いに把握し、サポートできるようにしている。 中退理由としては、学習上や生活上、経済的問題などあらゆる領域に渡っているため、教員だけでなく学生相談室に属している本校のカウンセラーとも連携し対応する等、退学に至る予兆をいち早く発見し、防止策を講じるようにしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科 2年制	300,000円	810,000円	449,000円	その他の費用は以下の通り ・施設設備費・校友会費 ・学生生活補償管理費 ・教育講演会費・補助教材費 ・学生自治会費
作業療法学科 2年制	300,000円	810,000円	449,000円	その他の費用は以下の通り ・施設設備費・校友会費 ・学生生活補償管理費 ・教育講演会費・補助教材費 ・学生自治会費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://ocr.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
卒業生、実習指導者、学生の保護者などで構成された学校関係者評価委員会を毎年1回開催し、自己評価結果について意見を聴取し、次年度以降の教育活動や学校運営に活用している。またこれらの結果については、施設や企業等の学校関係者にとどまらず、ホームページ上で広く一般に対して公開している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
正風病院 リハビリテーション部 理学療法士	2021.8.1 ~ 2022.7.31	企業等
株式会社コミュニティケア訪問介護ステーション 理学療法士	2021.8.1 ~ 2022.7.31	企業等
社会福祉法人慶生会特別養護老人ホーム瑞光苑 作業療法士	2021.8.1 ~ 2022.7.31	企業等
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科 卒業生	2021.8.1 ~ 2022.7.31	卒業生

大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科 卒業生	2021. 8. 1 2022. 7. 31	～	卒業生
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科在学生の保護者	2021. 8. 1 2022. 7. 31	～	保護者
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科在学生の保護者	2021. 8. 1 2022. 7. 31	～	保護者
学校関係者評価結果の公表方法			
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://ocr.ac.jp/disclosure/			
第三者による学校評価 (任意記載事項)			
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 認定			

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ocr.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 福田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。